

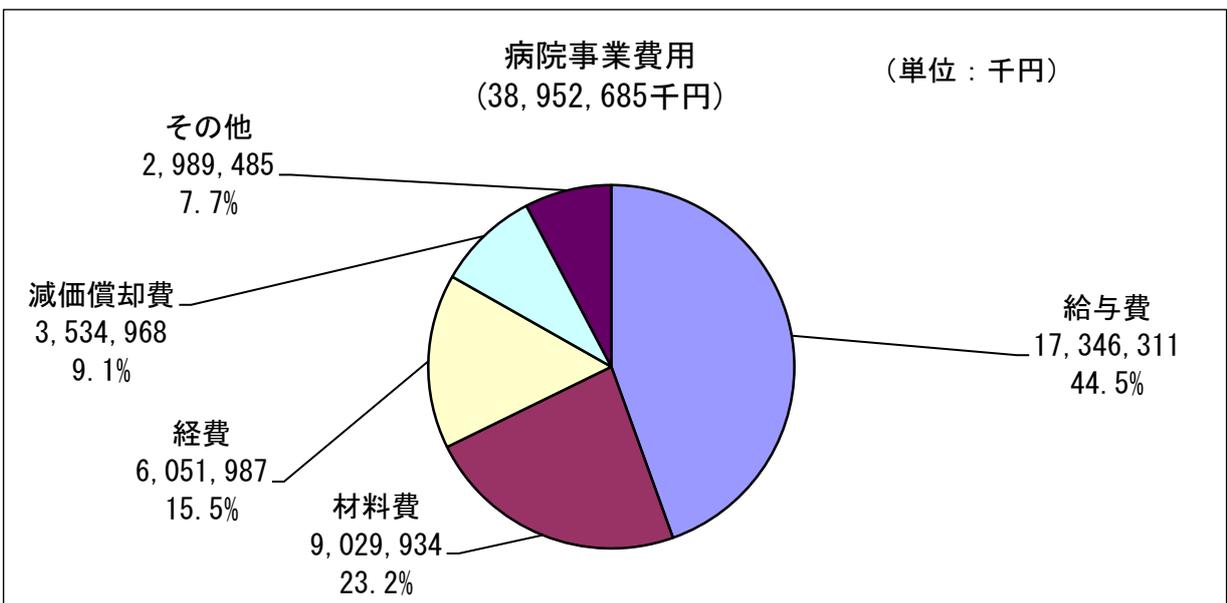
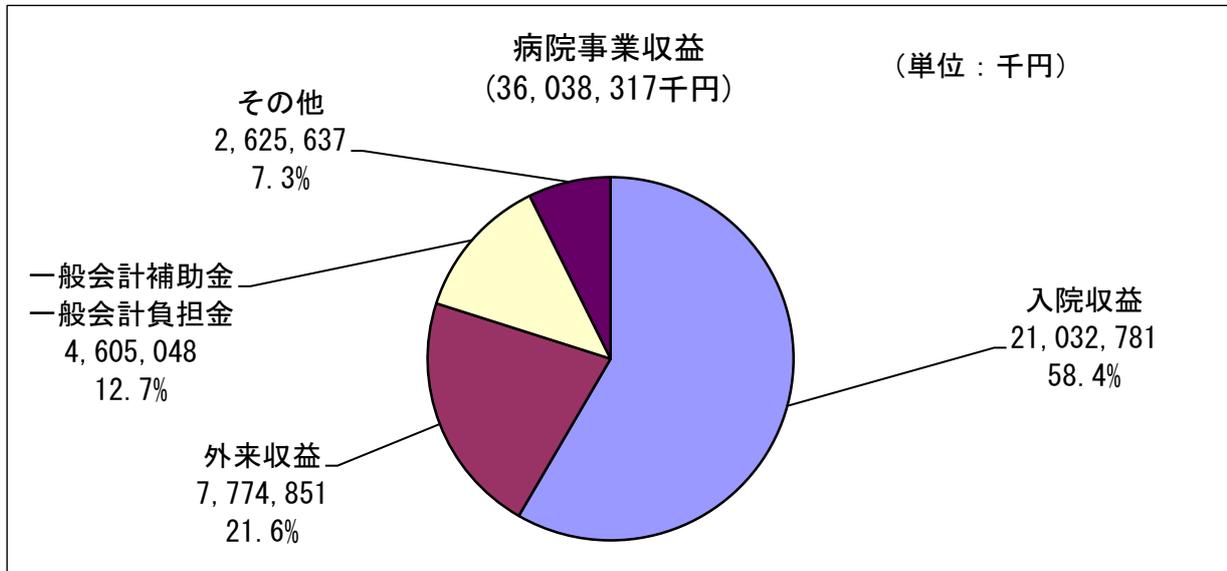
## 名古屋市病院局 令和元年度予算の概要

令和元年度の病院事業会計の収益的収支予算は、総事業収益を360億3,831万円余、総事業費用を389億5,268万円余と見込んでおり、29億1,436万円余の赤字となっております。市立病院を取り巻く状況は厳しいものがありますが、今後も継続して市立病院としての役割を果たしていくため、自立した経営を目指し、平成29年3月に策定した「名古屋市立病院改革プラン2017」に基づき、限られた医療資源を効率的に活用して医療水準を高めてまいります。

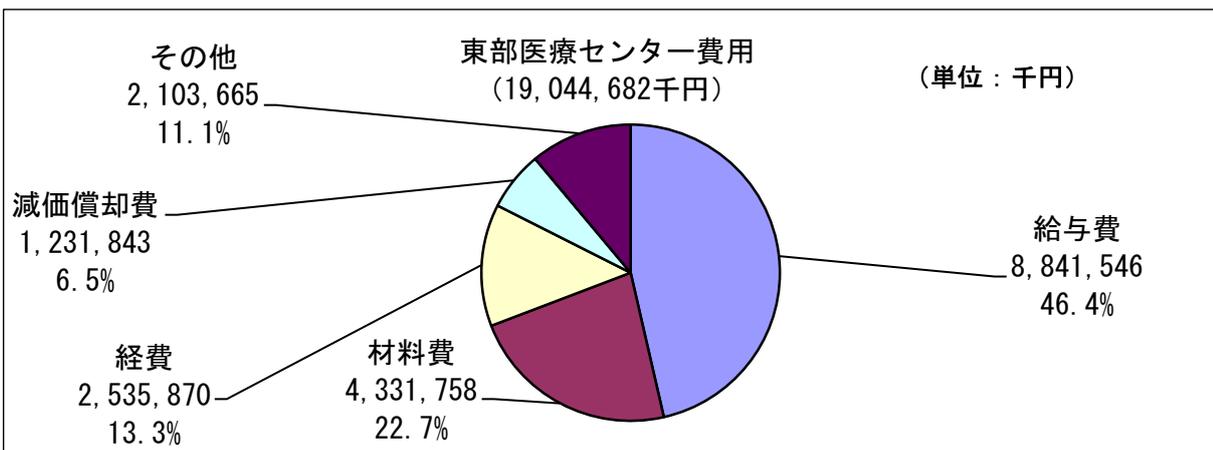
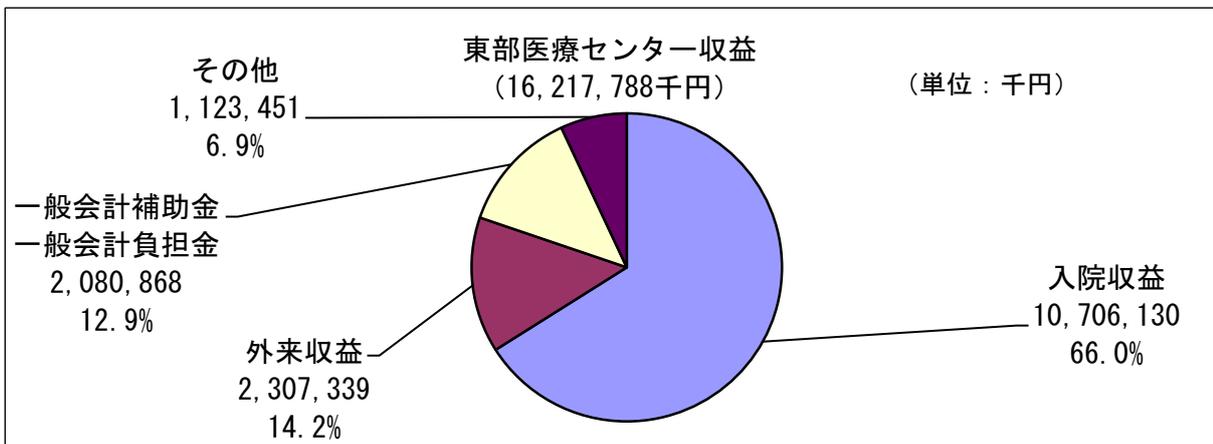
令和元年度の重要事項としては、東部医療センターにおいて、医療機能の更なる充実を図るとともに、良質な療養環境を提供するため、令和2年1月に入院・診療棟を開設します。あわせて、平成30年2月に愛知県より救命救急センターの指定を受けた東部医療センターにおいて、一般の救急医療機関では対応できない重篤な救急患者さんに対し、24時間体制で高度な医療を総合的に提供します。

また、西部医療センターでは、母体・胎児の異常や治療を必要とする新生児を集中的に管理する病床を備え、24時間体制で高度・専門的な小児・周産期医療を実施します。さらに、陽子線治療をはじめ、外来から入院に至るまで一貫したがん医療の充実に取り組むほか、脊椎センターにおいて、患者さんの身体的負担が少ない低侵襲手術を実施します。

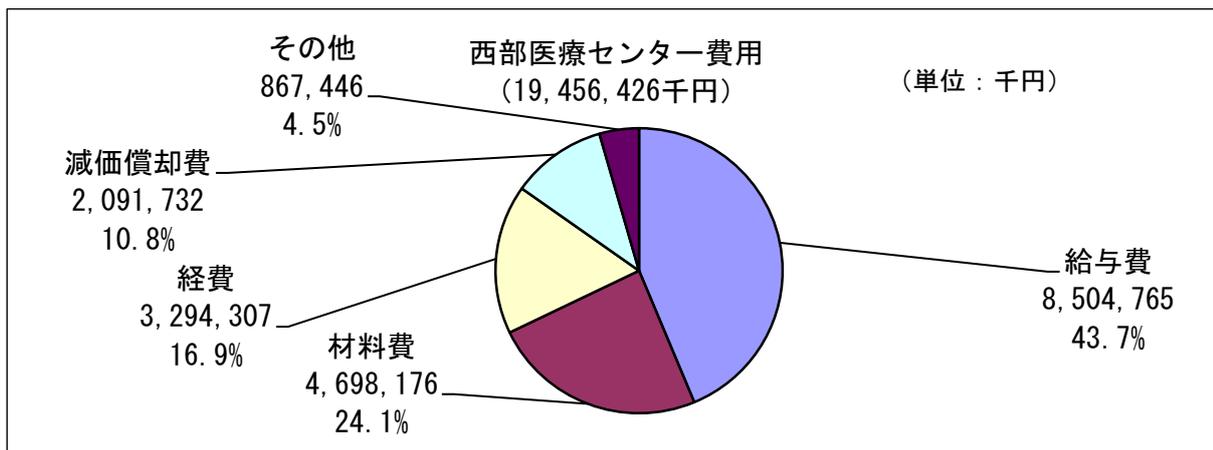
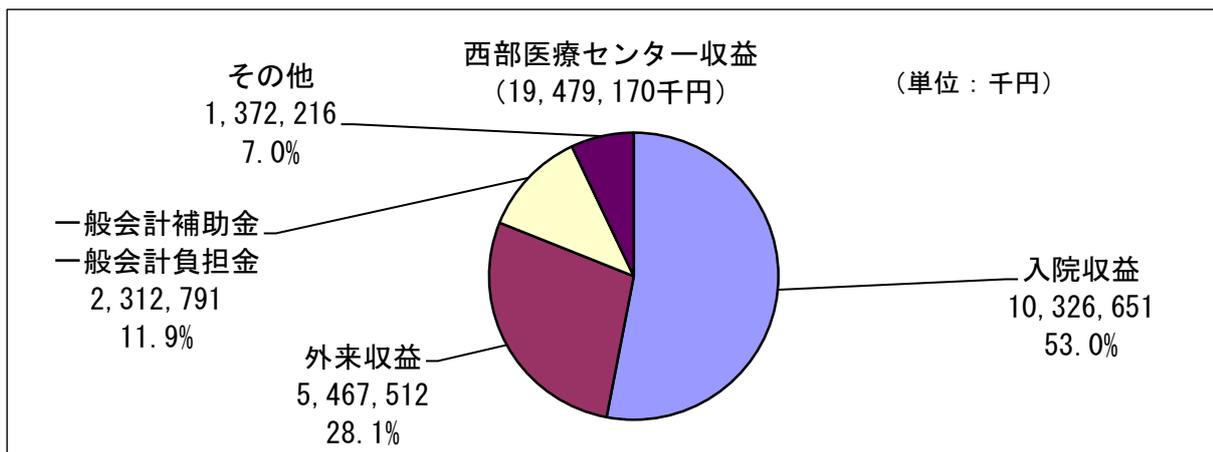
### 病院事業会計の収支



東部医療センター



西部医療センター



緑市民病院

